



Ever Onward

アニュアルレポート 2015

2015年3月期



「SDS®-ONE APEX3」による
バーチャルサンプル

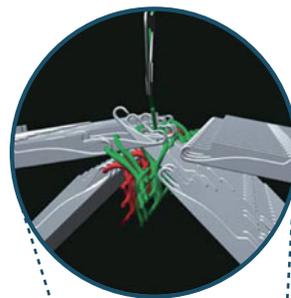
シマセイキは、世界におけるコンピュータ横編機のリーディ

皆さんが普段着ているニットは、その大半が横編機で作られています。

シマセイキは、コンピュータ横編機のメーカーとして世界をリードし続けています。

コンピュータ横編機とは

コンピュータ横編機はニットを自動で編む機械です。複雑な手編みの動きをメカトロニクス技術を駆使して、コンピュータ制御により自動化しています。



ニットの特長

ニットとは、ループ状の編地になっている服や生地のことです。伸縮性があり、からだにやさしい衣料で、通気性が良くカラーバリエーションも豊富です。

適した素材を使用することで、シーズンにかかわらず一年中着用することができます。



ングカンパニーです。



シマセイキ 5つの特長

1

技術革新を続けて半世紀

50年以上前、手袋編機メーカーとしてスタートした当社は、機械と電子の技術を融合した総合メカトロニクス企業として、技術革新を通じて世界のニット・アパレル産業の発展に貢献し続けています。



2

海外販売が80%以上

ファッション産業の中心地イタリアや、世界最大のニット生産地である中国・香港、新たな生産拠点として注目される南アジア・ASEAN諸国など、全世界で高いシェアを誇っています。



3

日本国内での一貫生産による“ジャパंकオリティ”

日本国内にある本社工場に製造を集約。部品から組み立てまでの一貫生産により多種多様な製品を効率的に生み出すとともに、耐久性・安定性などの優れた品質を確保。世界中の顧客から高い信頼を獲得しています。



4

横編機の最高峰ホールガーメント®

「一着丸ごと縫い目がないニット」を作るホールガーメント®横編機は、シマセイキの独自開発。高いデザイン性と着心地の良さを実現するとともに、カットロスや縫いしろが不要で省資源なうえ、世界的な縫製技術者の不足という問題の解決にも大きく寄与します。



5

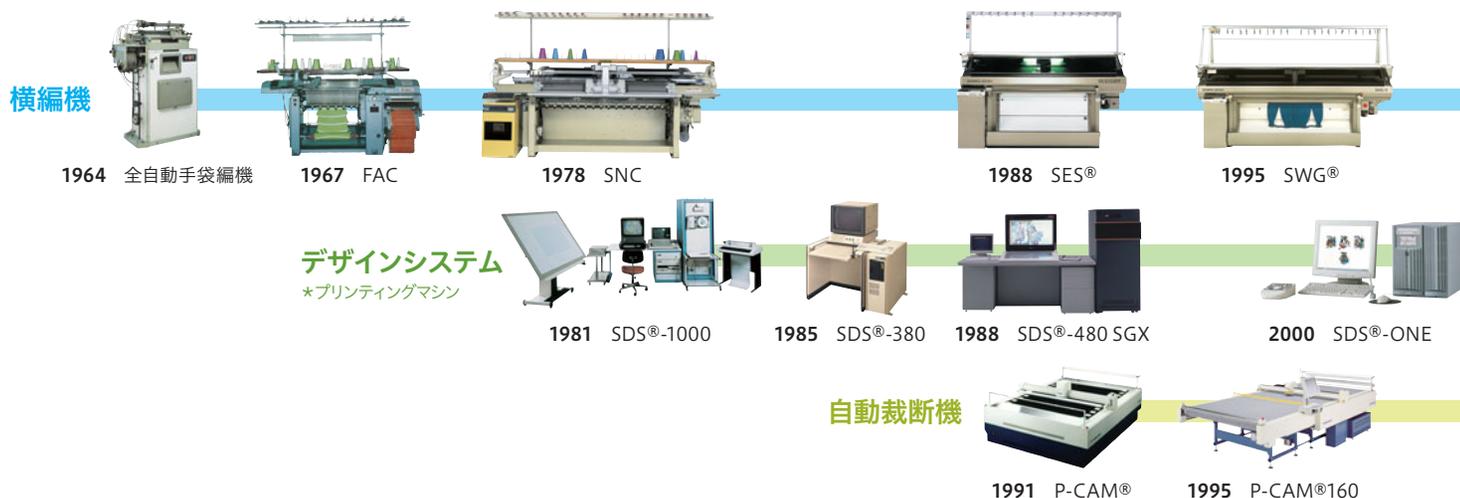
アパレル分野以外にも積極展開

デザインシステム関連事業では、デザインシステムや自動裁断機などをアパレル以外の分野にも幅広く提案。高性能・高品質の製造機器をさまざまな業界に提供しています。



Ever Onward — 限りなき前進

経営理念「Ever Onward」のもと、たゆまぬチャレンジ精神でこれからも革新的な製品を世に送り出していきます。



地域別事業紹介

欧州市場

多くのファッションブランドを展開するイタリアでは、ホールガーメント®横編機やSRY®が浸透。英国、スペインなどで国内生産への回帰が見られ、東欧諸国はボリュームゾーン商品の生産拠点として注目されています。

15.2%

アジア市場

世界最大のニット生産拠点・中国では、人件費高騰や縫製労働者の不足などを背景に、ASEAN 諸国やバングラデシュへの生産シフトを加速していますが、競争力の向上に向けて設備投資が回復してきています。

15.9%

日本市場

為替相場の改善に伴い、高付加価値製品の生産を日本国内へ戻す動きが出てきています。また、SDS®-ONE APEX3やP-CAM®の導入がアパレル分野以外にも広がっています。

4.5%

中東市場

欧州、ロシア向け衣料の生産地であるトルコでは、ニット産業が活発です。近年は、製品の高付加価値化や生産性向上へのニーズも高まっています。

その他の地域市場

最大の衣料消費地、米国は輸入品が大半ですが、自国での生産機運が高まっています。ブラジルでは内需向けとして、生産性の高いホールガーメント®横編機が浸透してきています。

地域別売上高比率
60.5%

3.9%

1962年、「世界初の全自動手袋編機」の実現のため、現社長・島正博により設立されたシマセイキ。その後も「最高機能の製品を経済的な価格でお届けする」という企業スピリットのもと、コンピュータ横編機、デザインシステムなど数々の「世界初」、「オンリーワン」の技術・製品で業界をリードしてきました。特に1990年代に開発したホールガーメント®横編機は、「産業革命に匹敵する」と評されるほどのインパクトを世界のニット産業に与えました。これからも当社は、技術革新を通じてアパレル業界をはじめ、さまざまな業界の発展に寄与するとともに、創造力を発揮して優れた製品の開発に尽力していきます。



セグメント別事業紹介

当社グループは、横編機とデザインシステムの製造・販売を軸に4つのセグメントで構成されています。



横編機事業

世界トップの技術力を誇るコンピュータ横編機を製造・販売する当社の中核事業。一着丸ごと立体的に編み上げるホールガーメント®横編機、ループプレッサーを備えたSRY®, 充実した編成を可能にするSVR®, コストパフォーマンスに優れたSSR®など、独自の開発力を活かした豊富なラインアップで進化し続けています。



MACH2®XS



デザインシステム関連事業

アパレル業界をはじめ、さまざまな業界のもの創りを支援するデザインシステムは、1981年にSDS®-1000を発表したことから始まります。高速かつ高精細なバーチャルサンプルや三次元シミュレーションなどを駆使することで、多彩なデザインを可能にすると同時にリードタイムの短縮とコスト削減を実現。さらにプリンティングマシンの開発のほか、自動裁断機P-CAM®シリーズによる異業種への展開も積極的に進めています。



SDS®-ONE APEX3



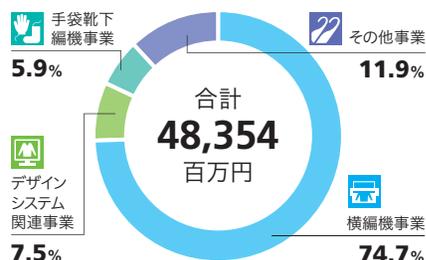
手袋靴下編機事業

手袋編機、靴下編機の製造・販売を行っています。ファインゲージ化などの高度技術を応用し、医療用など高付加価値分野への対応を強化しています。



その他事業

当社編機、システム機器のメンテナンス部品の販売や修理・保守、高級カシミア糸の紡績、ニット製品の販売などの事業を行っています。



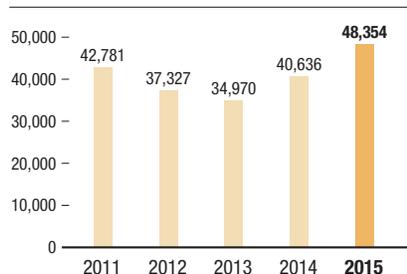
財務ハイライト

株式会社島精機製作所および連結子会社
3月31日に終了した連結会計年度

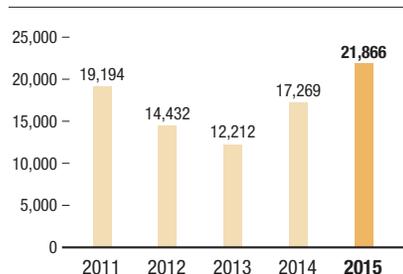
	2015	2014	2013	2012	2011		2015	2015
会計年度:			百万円			増減率 2014/2015	千米ドル	千ユーロ
売上高	¥48,354	¥40,636	¥34,970	¥37,327	¥42,781	19.0%	\$402,380	€371,041
売上総利益	21,866	17,269	12,212	14,432	19,194	26.6	181,959	167,787
営業利益(損失)	5,745	2,732	(509)	883	5,908	110.3	47,807	44,084
税金等調整前当期純利益(損失)	7,006	7,230	3,363	(537)	1,092	(3.1)	58,301	53,760
当期純利益(損失)	3,646	4,863	1,754	(642)	770	(25.0)	30,340	27,977
会計年度末:			百万円			増減率 2014/2015	千米ドル	千ユーロ
総資産	¥126,987	¥119,727	¥112,089	¥106,863	¥113,951	6.1%	\$1,056,728	€974,424
純資産	98,179	93,222	87,382	84,167	86,591	5.3	817,001	753,369
1株当たり情報:			円			増減率 2014/2015	米ドル	ユーロ
当期純利益(損失)	¥106.54	¥142.13	¥51.26	¥(18.60)	¥22.26	(25.0)%	\$0.89	€0.82
配当金	32.50	32.50	25.00	40.00	35.00	0.0	0.27	0.25
純資産	2,863.49	2,718.57	2,547.88	2,454.07	2,502.27	5.3	23.83	21.97
財務指標:			%					
ROA	3.0%	4.2%	1.6%	(0.6)%	0.7%			
ROE	3.8	5.4	2.0	(0.8)	0.8			
自己資本比率	77.2	77.7	77.8	78.6	75.9			
海外売上高比率	84.1	83.6	84.7	87.6	91.1			

(注) 読者の便宜のため、円建金額を2015年3月31日現在の為替レートである1米ドル=120.17円、1ユーロ=130.32円でそれぞれ換算しています。

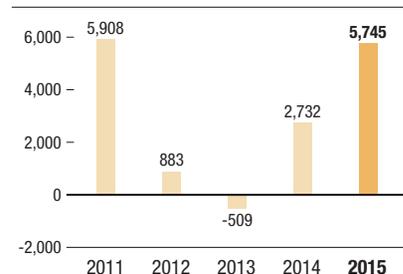
売上高 (百万円)



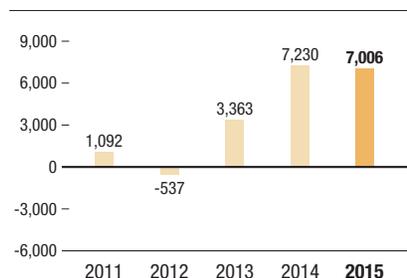
売上総利益 (百万円)



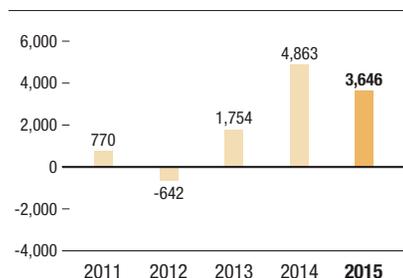
営業利益(損失) (百万円)



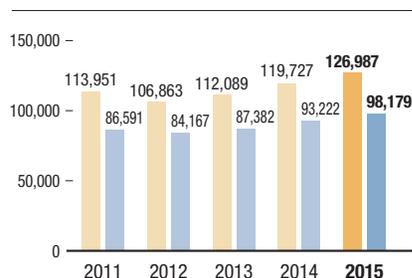
税金等調整前当期純利益(損失) (百万円)



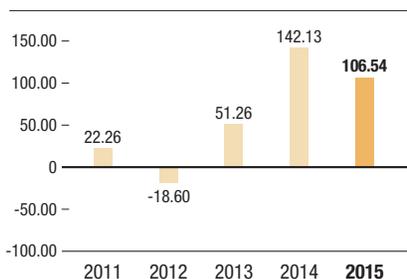
当期純利益(損失) (百万円)



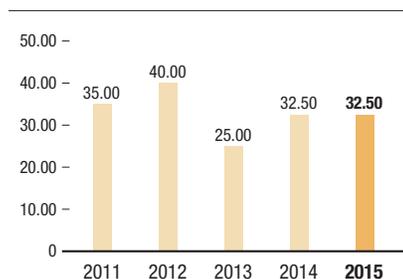
総資産／純資産 (百万円)



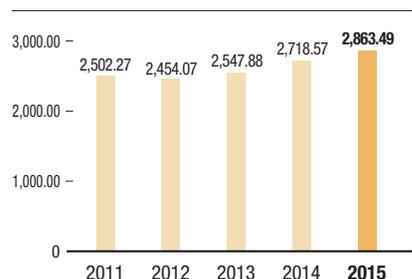
1株当たり当期純利益(損失) (円)



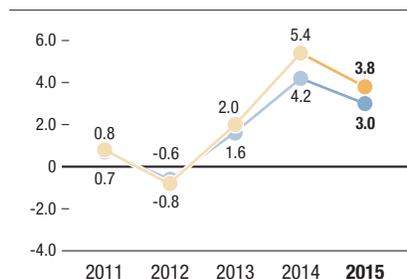
1株当たり配当金 (円)



1株当たり純資産 (円)



ROA/ROE (%)

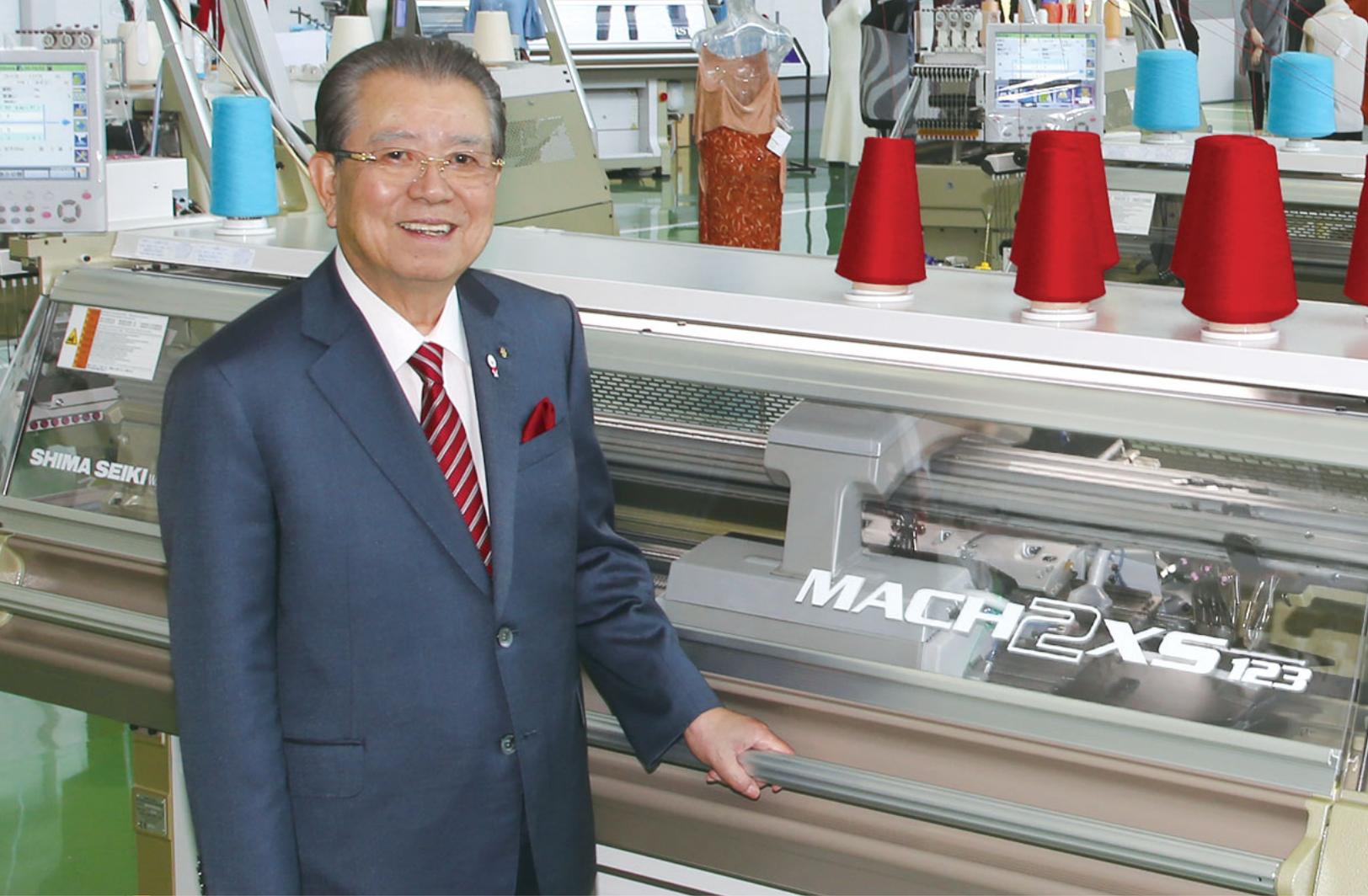


自己資本比率 (%)



海外売上高比率 (%)





社長メッセージ

当社本来の高い競争力で2期連続の増収を達成。
この勢いを持続し、さらなる成長を目指します。

当期(2015年3月期)は、当社の高い競争力が十分発揮できたうえ、
アジア市場を中心とした設備投資の拡大によって売上高・営業利益ともに
大きく伸ばすことができました。

ホールガーメント®20年の節目の年を迎え、2016年3月期も世界各地の
ニーズに応じた販売活動と製品開発に注力し、
さらなる飛躍を目指してまいります。



代表取締役社長
島 正博

1962年、当社を設立。
数々の製品の設計開発をリードする。
経営者として、当社を業界の
リーディングカンパニーに育てる。

Q 当期(2015年3月期)の市況と業績について説明してください。

A 当社の「強み」を全世界で発揮し、売上高・営業利益ともに大きく増加しました。

当期は、コアビジネスである横編機事業の販売がアジア地域を中心に大きく拡大し、その他の地域や国内でも総じて好調に販売を伸ばしたことで、連結売上高は483億54百万円(前期比19.0%増)と、前期に引き続き増収を達成しました。営業利益は、増収効果に加え、円安による販売単価の上昇や増産によるコスト低減もあり、前年の2倍以上の57億45百万円(同110.3%増)となり、経常利益も為替差益が営業外で発生したことなどにより、84億70百万円(同15.2%増)の大幅な増加となりました。

一方、当期純利益については、インドネシア顧客の経営破綻による貸倒引当金繰入額12億74百万円を特別損失として計上したことで、前期を下回る36億46百万円(同25.0%減)となりました。

前期(2014年3月期)も増収・増益と業績は好調でしたが、その要因には円高是正という追い風の影響が多分にありました。これに対し当期の業績は、営業利益の大幅な増加が示すように、バングラデシュやASEAN諸国をはじめとするアジア市場での設備投資の拡大や、高品質・



高機能な製品、きめ細かなサービス体制など、当社が持つ本来の高い競争力を十分に発揮でき、各地域において

多くの顧客から高い支持を得られた結果であると捉えています。

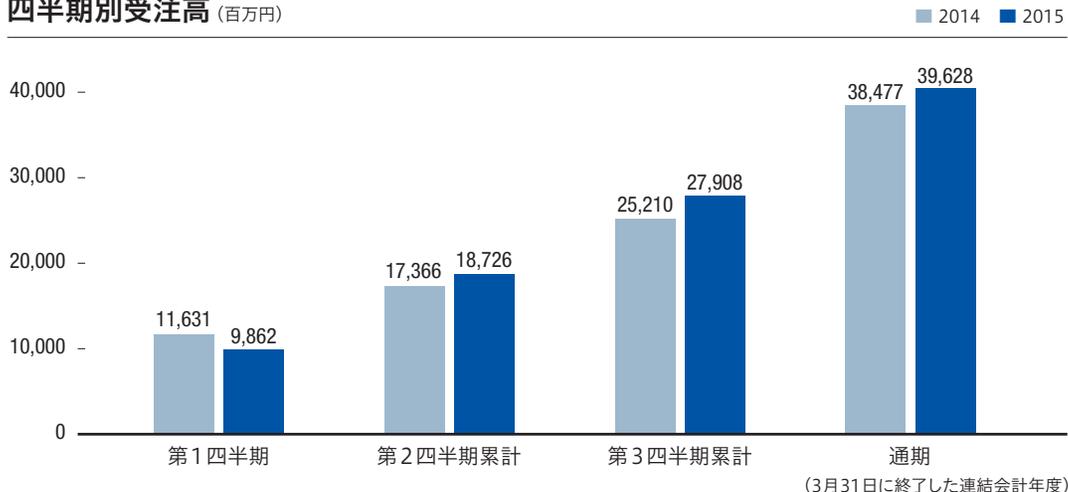
Q 事業分野別の状況について説明してください。

A アジア市場の好調に牽引され横編機事業の売上が拡大。手袋靴下編機事業も大幅に伸張しました。

当期の横編機事業を牽引したのはアジア地域です。特にバングラデシュは目覚ましい拡大を見せました。同国は欧米アパレルのファストファッションの生産拠点として、2年前から非常に旺盛な設備投資が続いており、販売台数は前年からさらに倍増しました。そのほか、

ベトナム、カンボジア、タイなどのASEAN諸国も、香港系大手ニットメーカーを中心に中国からの生産シフトが加速し売上の増加となりました。また中国・香港市場においても、企画から小売りまで一貫して行うSPA（製造小売）型の衣料メーカーを中心に内需向けの設備

四半期別受注高 (百万円)





投資が回復しました。

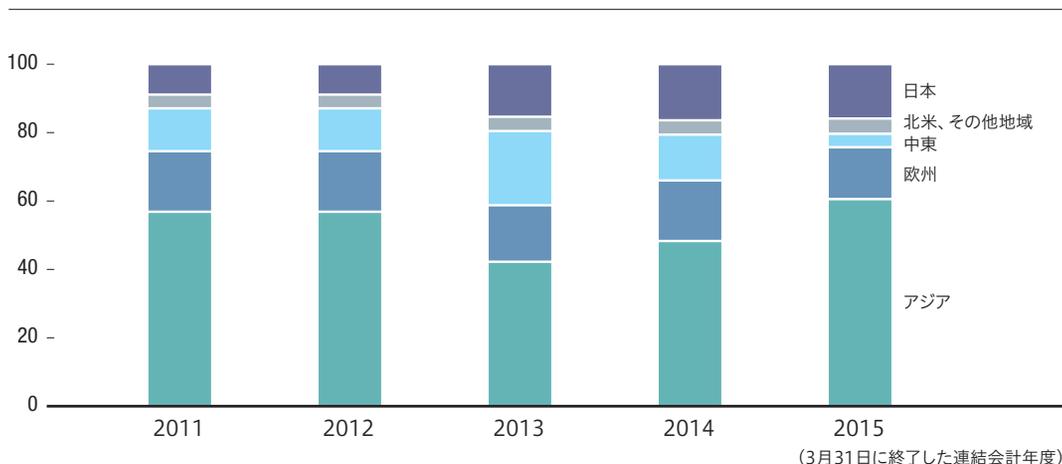
先進国市場では、ファッション産業の中心地であるイタリアにおいて、今までにない織物のような生地が編成できる「SRY®」が受け入れられたほか、米国でも自国生産の動きが高まり、ホールガーメント®横編機を含むコンピュータ横編機の売上が増加しました。国内においても、中国からの生産回帰の動きに政府の産業支援策なども加わり、ホールガーメント®横編機を中心に販売を伸ばしました。

デザインシステム関連事業では、「SDS®-ONE APEX3」が国内外で高い評価を受け、堅調に出荷台数を伸ばしました。特に国内では、ニット業界だけでなく、テキスタイルやプリント、タオルなどのほか、インテリア、家具、雑貨といった幅広い業種にも積極的な営業活動を展開したことにより採用が広がり、ニット業界以外での販売

比率が高まりました。自動裁断機「P-CAM®」も、国内を中心に多彩な分野に向けた販促活動によって販売を伸ばした結果、自動車内装部品や家具関連、航空機関連、産業資材といった異業種分野への売上が増加しました。

また当期は、手袋靴下編機事業の売上が前年比2倍以上と大きく伸張しました。同事業では長年、韓国や中国などの低価格機により苦戦を強いられてきましたが、円安により価格差が縮小して対等な競争環境となったこともあり、性能、安定性、耐久性、生産性といった当社製品の持つ優位性が、あらためて多くの顧客から評価され、国内・海外とも大幅に販売台数が増加しました。

地域別売上比率 (%)





Q 次期の市場展望と主な施策について説明してください。

A 「ホールガーメント®20年」の節目の年。
これから新たな成長ステージへと進めていきます。

次期(2016年3月期)も、世界各国・地域の市場特性に応じた積極的な提案活動を進め、すべての事業分野でさらなる成長を目指していきます。

最重要の戦略課題は、先進国市場におけるホールガーメント®横編機の拡販です。今年11月には、イタリアのミラノで4年に1度の国際繊維機械見本市「ITMA 2015」が開催されますが、同展示会に先駆けて2月に、世界で初めて可動型シンカー装置を搭載した4枚ベッドのホールガーメント®横編機の新製品「MACH2®XS」を発表しました。「MACH2®XS」は、これまでの機種よりもデザイン性を飛躍的に高め、さらに生産性、安定性、操作性なども大幅に向上させました。今年(2015年)は、当社がホールガーメント®横編機を開発してから20年という節目の年であり、この記念すべき年に発表した「MACH2®XS」は、当社のホールガーメント®の歴史における集大成であると考えています。

発表以来、「MACH2®XS」は各国の顧客の高い注目を集めており、国内のニットメーカーはもちろん、イタリア、英国、ブラジル、ロシア、韓国など世界各国の顧客が次々と当社を視察に訪れています。こうした個別の販促活動を今後も精力的に進めるとともに、11月のITMA展では

「MACH2®XS」と「SDS®-ONE APEX3」の連携による無限の可能性を全世界の顧客にアピールし、ホールガーメント®横編機を新たな成長ステージへと引き上げていきます。

ホールガーメント®横編機以外の機種についても、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」や、より高機能機種である「SVR®」など、各国・地域の市場ニーズに応じた製品の提案活動を強化して拡販を目指します。また、デザインシステムについても、ニットのプログラミング用としてだけでなく、バーチャルサンプルの活用によって企画、生産プロセスを劇的に効率化できるメリットをあらゆる分野へ積極的に提案し、販売台数の拡大を図っていきます。

当期に計上した特別損失の内容を鑑み、次期からは海外事業におけるリスク管理強化にもより一層努めてまいります。

以上の取り組みにより、次期の連結業績は、売上高510億円、営業利益70億円、経常利益75億円、当期純利益50億円を計画しています。なお、業績見通しの前提となる為替レートは、米ドル120円、ユーロ125円を想定しています。



Q 当期の配当についての説明と、今後の成長に向けた取り組みについてメッセージをお願いします。

A 製品開発を通して、全世界にイノベーションを起こしていきます。

当期の株主の皆様への配当金については、1株につき中間配当金15円、期末配当金17円50銭の合計32円50銭で実施させていただきました。

新興国の経済発展を背景に、世界の衣料品の消費は増加を続けており、ニット製品の購買層も大きく広がってきています。生産者側から見ると、より高品質な商品を求める消費者ニーズへの対応、移り変わる市場ニーズへの迅速な対応、流通にかかるコストなどの点から「消費地型生産」がベストであることは間違いありません。しかし、企画・生産プロセスでのコスト高が、特に先進国市場において、これを阻んできました。

当社の製品は、この問題を根底から解決できると確信しています。ホールガーメント®横編機は、製造過程における縫製工程をなくすことで、生産合理化に大きく寄与します。また、デザインシステムによるバーチャルシミュレーションは、商品企画プロセスのボトルネックであったサンプル作成時間を飛躍的に短縮するとともに、コストも大幅に削減します。

そして、ホールガーメント®横編機とデザインシステムの連携によって、労働集約型産業である繊維産業を、消費地生産によって高い付加価値を生み出せる“感性・情報産業”へと転換していく必要があると考えています。

シマセイキは、世界のニット産業をはじめ、関連するあらゆる産業に「真のイノベーション」をもたらす革新的な製品・サービスの提供を通して、これからもグローバルな視野を持って成長を目指してまいります。

これを具体的な目標として明確にした、中期経営計画「Ever Onward 2017」を2015年8月に策定しました（詳細は次ページをご参照ください）。

株主・投資家の皆様には、引き続き当社への温かいご理解、ご支援をお願い申し上げます。

代表取締役社長

島 正 博

当社は、「**Ever Onward** — 限りなき前進」という経営理念のもと、創造力と技術力で、常にお客様の立場に立って、世界にない製品を提供し続けてまいりました。

創業から50余年を経た今日、皆様方のひとかたならぬご愛顧により、手袋編機をはじめ、コンピュータ横編機、デザインシステムのトップメーカーとして、高い評価をいただくまでになりました。

一方で、当社を取りまく事業環境は、世界規模で目まぐるしく変化しています。

こうしたなか「次の50年」へ向け、直面するさまざまな課題に取り組み、さらに企業価値を高めるべく、中期経営計画「**Ever Onward 2017**」を策定しましたので、ここにその概要をご説明いたします。

1. 長期経営方針

中期経営計画は、次の「経営理念」と「10年後のビジョン」をもとに策定いたしました。

(1) 経営理念

Ever Onward — 限りなき前進

私たちは「愛」「創造」「氣」を合言葉に「**Ever Onward** — 限りなき前進」を掲げ、事業の持続的発展により、「世の中になくってはならない企業」になることを目指してまいります。

「愛」 私たちは、仕事を愛し、人を愛し、国や地域を愛し、地球を愛することを通じて、人や環境にやさしい「もの創り」を目指し、社会に貢献します。

「創造」 私たちは、高感度・高感性で創造力を発揮し、世の中に無い魅力的なものを創り出すことを目指します。

「氣」 私たちは、何ごとにも、成し遂げる“氣”を持って挑戦し、製品やサービスに魂を込め、未来を切り開いていきます。

(2) 10年後のビジョン

当社の持つ技術が世界中に波及し、魅力あるファッション製品の「もの創り」のスタンダードになっていること。また、当社のコア・コンピタンスが、ファッション製品以外の業界にも貢献できる、新たな成長ステージを創造し、感性情報型企业へ進化していくことを10年後のビジョンとします。

2. 中期経営計画の概要

(1) 位置づけ

創業から50余年を経た当社では、今回策定しました「中期経営計画」を、「次の50年」の企業成長の礎を築く「**基盤強化**」フェーズとして位置づけています。

環境配慮型経営を推進し、持続的な成長を実現するための経営基盤の強化を図るとともに、過去最高益の更新を目指して、抜本的な経営施策を全社的に展開します。



(2) 基本方針

- ① 当社の提唱するトータルファッションシステムにより、もの創りの変革を推し進め、ファッション業界の発展に寄与する。
- ② コアビジネスで培ったリソースを活用して新たな市場を創造するとともに、社会に貢献できるビジネスソリューションを提供する。
- ③ 現在の業務内容を原点に立ち返ってすべて見直し、新たなビジネスモデルを再構築する。

(3) 目標

中期経営計画の実行により収益性を高め、将来の事業投資・株主還元へ向けた財務の健全性・柔軟性の向上を目指します。

	2014年度 (連結実績)	2017年度 (連結目標)
売上高	483億円	700億円
営業利益	57億円	150億円
経常利益	84億円	150億円
当期純利益	36億円	100億円
R O E	3.8%	8.5%

(4) 重点施策

中期経営計画において、次の4つの成長戦略を掲げ、経営資源の選択と集中を推進し、企業価値の向上を図ります。

横編機事業の 最強化	ホールガーメント®横編機を核とした革新的なマーケティング手法の提案強化などにより、顧客満足度をさらに高め、コアビジネスである横編機事業をより一層強靱なものにする。
独自性をもった 事業範囲の拡大	ホールガーメント®技術など当社独自の技術を活用し、非衣料市場への横編機事業の展開や自動裁断機事業の強化など、革新的な事業の創出、差別化戦略を推進する。
収益構造の改革	アフターセールス強化などの収益源の多様化、営業キャッシュフローの改善など、事業・業務の抜本的な見直しにより、持続可能な収益源の確保と戦略的なコスト削減を進める。
経営基盤の強化	創造力のある人材・多様性のある人材の採用・育成など、人材面を中心に、一般的な経営資源の整備を進めるとともに、CSRをさらに重視した経営体制を構築する。

(5) 利益還元方針

当社は、事業の持続的発展を通じて、すべてのステークホルダーに対して貢献してまいります。

そのうえで、株主に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、長期的視点から事業の成長を図るとともに、業績に裏付けられた成果の配分を安定的かつ積極的に行うことを基本方針といたします。

WHOLEGARMENT®

20年の到達点とこれから



横編機の最高峰「ホールガーメント®」は、理想のニットウェアを追求しています

特長

1

「第2の肌」の着心地

ごわつき感を生じさせる縫い目がないため、立体的に体にフィットし、まるで第2の素肌のような着心地の良さがあります。



ホールガーメント®は、シマセイキが独自に開発したホールガーメント®横編機により、身頃・袖などのパーツを作ることなく一着丸ごと立体的に編み上げられた無縫製のニットウェアです。

特長

2

美しいシルエット

凹凸の原因となる縫いしろがなく、ニット本来の美しいドレープ感や高級感のあるシルエットが生まれます。



特長

3

優れたストレッチ性

縫い目がないので、ニットならではの伸縮性が邪魔されることなく、体の動きに沿ってスムーズに伸び縮みします。



特長

4

環境にやさしい

一着丸ごと編み上げるため、カットロスや縫いしろが発生せず、原料を無駄なく活用できる環境にやさしい衣料です。



ホールガーメント®はデザインシステムとともに
イノベーションを生み出していきます



2015

可動型シンカー装置により、さらに安定した生産を実現した「MACH2®XS」と、バーチャルシミュレーションがより高精細になった「SDS®-ONE APEX3」を融合させることで、繊維産業を“感性・情報産業”へと変革していきます。



NEW MACH2®XS & SDS®-ONE APEX3

2007

これまでのホール
ガーメント®横編機
の2倍以上の速度
を実現



MACH2®X

2012

3次元のシミュレ
ーション機能が大幅に
強化・高速化



SDS®-ONE APEX3

1999

当社独自の4枚ベッ
ド機構にスライド
ニードル®を搭載



SWG®-X

2007

ホールガーメント®の
立体表現が可能に



SDS®-ONE APEX

1995

世界で初めて無縫製
ニットの編成を実現



SWG®-V

2000

生産プロセス全体を
つなぐ「オールイン
ワン」コンセプトの
システム



SDS®-ONE

WHOLEGARMENT®

Design System

お客様事例 株式会社イノウエ様

ホールガーメント®は、ニットメーカーや アパレルに多様な価値を提供しています

日本におけるホールガーメント®生産のリーディングカンパニーである株式会社イノウエ様に、ホールガーメント®横編機が実現するメリットについて伺いました。

イノウエ様が評価するホールガーメント®のメリット

メリット

1

お客様の要望に営業担当者が素早く対応できる

[企画・デザイン]

当社では、営業全員がデザインシステムを操作でき、実際に編んだサンプルで提案を行っています。縫製の不要なホールガーメント®は素早いサンプルの提供が可能で、当社のごだわりを伝えることによりお客様の満足度も高まります。



メリット

2

追加発注が可能。アパレル顧客の利益を向上できる

[製造]

ニット製品には豊富な色展開が求められる一方、不人気色の在庫が問題です。しかし、必要な分を短期間で追加生産できるホールガーメント®なら、アパレルのお客様は人気色の販売機会を逃さず、また在庫も抑えられ、利益向上につながります。



メリット

3

軽くて着心地が良く、リピーターが増える

[販売]

軽くて着心地が良く、型崩れしにくいホールガーメント®は、一度着ていただいた消費者から「この前と同じものが欲しい」と指定してもらえます。ホールガーメント®ならではのシルエットも好評で、リピーターが増えています。



株式会社イノウエ

群馬県太田市にある国内最大規模のホールガーメント®製造専門メーカー。著名なブランドも多数手掛ける。本社には5,000着を超えるサンプルが展示され、多くのお客様が訪れている。

<http://knit-inoue.co.jp/>

世界に誇れるホールガーメント®は 今後、着実に広がっていくでしょう

お客様のさまざまなご要望を ホールガーメント®で実現しています。

ニットの産地である群馬県太田市で後発メーカーとして参入した当社は、「他社とは違うことをやらねば」という状況にありました。そこで「誰もやっていないことを仕事にしよう」と、20年前にホールガーメント®横編機を導入したのです。事業が軌道に乗るまでにはさまざまな問題があり、何度も壁にぶつかりながら、それを乗り越えて前進してきました。

当社は「常にお客様目線で考える」ということをモットーにしています。たとえ編機に適さない糸であっても、お客様が要望されているのなら、それに近付けるよう最大限の努力をします。長年の技術やノウハウの蓄積を活かし、お客様の要望を「ホールガーメント®ならどうできるか」と置き換えて、提案を行っています。

ホールガーメント®の認知度が上がり、 市場が拡大することを期待しています。

新製品「MACH2®XS」の1号機を導入したのは、これまで課題であった編み方

のバリエーションの広がりに加え、安定性のさらなる向上や機械の扱いやすさなどが理由です。例えば、ベーシックな商品をより安定して編めるため、定番商品の生産量を増やすことができます。また、夏用の糸は麻などの固い糸で清涼感を演出しますが、編成するには難しさがありました。それが「MACH2®XS」ではとても編みやすくなっています。

この新製品が世界中に広がり、ホールガーメント®の良さが認知されることで市場が拡大していくと考えています。シマセイキには、新たな日本のもの創りのスタートとも言える新製品「MACH2®XS」を、海外へもどんどん拡販していつてもらえたらと期待しています。



株式会社イノウエ
代表取締役社長

井上 隆 様



ユーザーの声を活かしたホールガーメント®を 全世界にアピールしていきます

今年11月、「繊維機械のオリンピック」と呼ばれる国際繊維機械見本市「ITMA 2015」がイタリアのミラノで開催されます。ITMA展に先駆けて、新製品のPR活動を積極的に行うだけでなく、当社はこれからもイノウエ様のようなユーザーの声に真摯に耳を傾け、ホールガーメント®によるイノベーションを全世界にアピールしていきます。



「MACH2®XS」出陣式

当期の概況と次期の見通し

当社グループは、事業を「横編機事業」「デザインシステム関連事業」「手袋靴下編機事業」「その他事業」の4つのセグメントに区分しています。

横編機事業

当期の概況

アジア地域では、欧米アパレルの生産拠点として設備投資が急増するバングラデシュで、コストパフォーマンスに優れた「SSR®」を中心に販売台数が倍増したほか、ベトナム、カンボジア、タイなどASEAN諸国でも中国からの生産シフトの動きが加速し、大幅な売上増加となりました。中国・香港市場でも、中間層の広がり背景に内需向けの設備投資が回復し、「SSR®」のほか、より高機能機種である「SVR®」の販売が増加しました。

欧州では、ファッション産業の中心地であるイタリアで織物のような風合いの生地編成を可能にした「SRV®」などの販売が増加したほか、英国、スペインなどでも堅調に売上が推移し、ほぼ前年並みの売上高となりました。また衣料品の消費国として潜在ニーズの大きな米国でも自国生産の機運が高まり、販売が増加しました。国内でも中国からの生産回帰に政府の産業支援策が加わり、ホールガーメント®横編機を中心に売上を伸ばしました。

これらの結果、横編機事業の売上高は361億6百万円(前期比16.2%増)となりました。

次期の見通し

バングラデシュ、ASEAN諸国などの新興国市場については、「SSR®」を中心に旺盛な需要に応えるとともに、ノウハウの提案やアフターサービスにも注力し、顧客満足度の向上により競合他社との差別化を図り、売上の拡大につなげます。中国・香港市場では、引き続き企画提案型のもの創りを提案し、高機能機種の拡販に努めます。中東のトルコ市場についても、編成効率の高い「SVR®」を中心に売上の回復を目指します。

先進国市場については、ホールガーメント®横編機の新製品「MACH2®XS」を戦略機種として、デザインシステムとの連携による消費地型生産の提案をさらに強化します。今年11月にミラノで開催される「ITMA 2015」では、機能性、生産性、操作性、安定性などあらゆる面で進化した「MACH2®XS」を全世界にアピールし、今後の横編機の中核を担う機種となるよう成長軌道に乗せていきます。

これらの施策により、次期の横編機事業の売上高は389億円(前期比7.7%増)を見込んでいます。





デザインシステム関連事業

当期の概況

デザインシステム「SDS®-ONE APEX3」は、アジア、欧州をはじめ世界各地で販売台数を伸ばしました。バーチャルサンプル作成ツールとしての提案を国内外で積極的に進めたことで、ニット業界以外にもテキスタイル、プリント、タオルなどのほか、インテリア、家具、雑貨など幅広い業種へ着実に広がってきています。

自動裁断機「P-CAM®」は、国内を中心に異業種分野への積極的な提案活動を進めた結果、自動車内装部品や家具関連、航空機関連、産業資材分野などへ販路を広げ、売上を伸ばしました。

これらにより、デザインシステム関連事業の売上高は36億45百万円（前期比10.8%増）となりました。

次期の見通し

高速かつ高精細な3Dバーチャルシミュレーション機能を実現した「SDS®-ONE APEX3」は次期も引き続き国内外で好調が見込まれ、さまざまな分野への積極的な提案で新規需要を開拓していきます。

自動裁断機「P-CAM®」は、ユーザーに密着した技術サービスの強化により、海外市場での拡大にも注力していきます。アパレル業界でのシェアアップとともに、自動車関連、家具関連、航空機関連、産業資材分野などの異業種分野への営業活動を推進し、販売拡大を図ります。

これらの取り組みにより、次期のデザインシステム関連事業の売上高は43億100百万円（前期比18.2%増）を見込んでいます。



デザインシステム関連事業（百万円）



お客様事例 株式会社インテリックス様

カーテンのシミュレーションに「SDS®-ONE APEX3」を活用

オーダーカーテンの製造・販売を手掛ける株式会社インテリックス様では、当社の「SDS®-ONE APEX3」を用いて通販サイト上でカーテンの“試着”ができるサービスを提供しています。試したい柄のカーテン生地を選んでボタンをクリックすると、そのカーテンが掛かった部屋の画像が表示されてイメージを確認できるもので、“試着”する部屋に自室の写真をアップロードして使うことも可能です。

また、同社ではカタログやパンフレットの制作にも「SDS®-ONE APEX3」を活用。商品写真を“着せ替え”することで撮影時間やコストの削減を実現しています。





手袋靴下編機事業

当期の概況

当期は市場の需要増加や、当社製品の性能、安定性、耐久性、最終商品の品質などの優位性が見直されたことに加え、為替環境の好転により価格差が縮まったことも追い風となり、国内外で販売が急伸びしました。

この結果、手袋靴下編機事業の売上高は28億43百万円(前期比124.7%増)と、大幅な増加となりました。

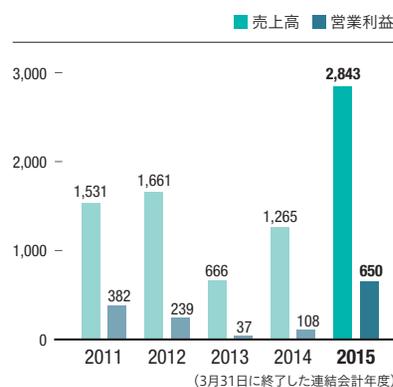
次期の見通し

次期も、引き続き当社製品の優位性を国内外の顧客にアピールしていくとともに、顧客に密着した技術支援も強化した販売活動を進めます。

次期の手袋靴下編機事業の売上高は、19億90百万円(前期比30.0%減)を見込んでいます。



手袋靴下編機事業 (百万円)



その他事業

当期の概況

横編機の販売台数の増加に伴い、保守部品の販売が伸びたことなどから、その他事業の売上高は57億60百万円(前期比14.9%増)となりました。

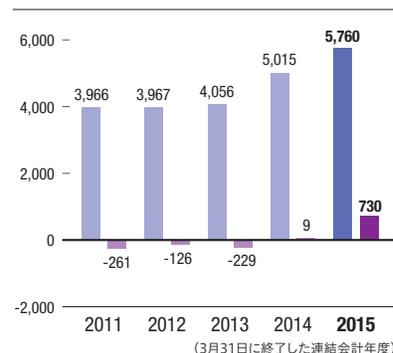
次期の見通し

次期についても、当期同様の活動を展開していきます。

次期のその他事業の売上高は、58億円(前期比0.7%増)を見込んでいます。



その他事業 (百万円)

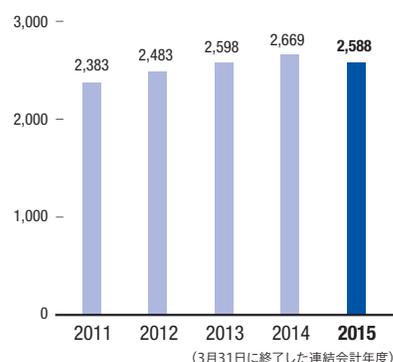


研究開発活動

当社は創業以来「創造性に基づく独自の技術開発」を基本に、基板設計からソフトウェアまで自社開発で取り組んでいます。

当期も、世界初の可動型シンカー装置を搭載したホールゲーム®横編機「MACH2®XS」、高速かつ高精細な3Dバーチャルシミュレーションを実現させたデザインシステム「SDS®-ONE APEX3」など、多くの新製品の創出や既存機種種のラインアップの拡充に注力しました。

研究開発費 (百万円)



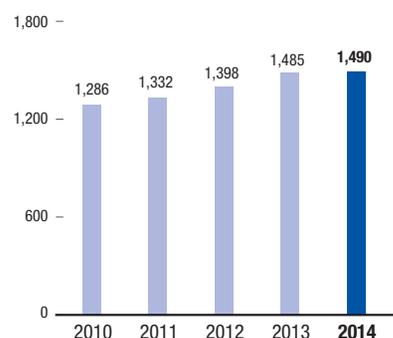
知的財産活動

成長力の源泉である研究開発の成果を、知的財産権として保護し活用する体制を整えています。

知財戦略においては「横編機の技術特許」だけでなく「ニットの編成技術」や「デザイン技術」など幅広い分野で特許取得を進め、蓄積した技術・ノウハウはすべてデータベース化して社内で共有しています。

2014年12月度現在、当社の保有する国内外の特許件数は1,490件に上っており、特に近年はアジア地域での知的財産権保護を強化しています。

特許件数 (件)



環境活動

当社では、生産部門での省エネ推進や大規模な太陽光発電システムの導入など、環境に配慮した事業活動を推進しています。

本年9月には、本社および工場を対象にISO14001の取得を予定しています。管理指標には、各種環境負荷の低減や工場緑化、再生可能エネルギーの使用促進などとともに、ホールゲーム®横編機やデザインシステムをはじめとする「環境配慮型製品」の提供も含め、事業を通じて地球環境保全に貢献していきます。



基本方針と体制

当社グループは、経営の効率化と健全化、透明性の向上を図り、ステークホルダーズを重視した経営を行うため、コーポレート・ガバナンスの充実を重要な経営課題と位置付けています。

当社は監査役設置会社であり、取締役会制度と監査役会制度の機能を十分に発揮させるとともに、監査役、内部監査室、会計監査人がそれぞれの独立性を維持しながらも連携して監査を実施することで、適正で効果的なコーポレート・ガバナンスを実行する体制を構築しています。

ガバナンス体制

(取締役・取締役会)

取締役会は11名で構成され、月1回以上の開催により業務執行の監督にあっています。内1名は社外取締役で、外部からの視点を通じて経営体制の強化を図っています。当期は16回の取締役会を開催しました。

(監査役・監査役会)

監査役は、社外監査役2名を含む4名からなり、取締役の職務執行と経営状況の監査にあっています。社外監査役は弁護士、公認会計士としての専門的見地から取締役業務の牽制を行っています。当期は10回の監査役会を行いました。

(内部監査室)

内部監査室を設置し、業務全般の内部監査のほか、コンプライアンス状況やリスク管理状況、財務報告を含めた内部統制監査を年間監査計画に基づき実施しています。

(会計監査)

会計監査人として大手前監査法人を選任し、定期的に会計監査と内部統制監査を受けることで、監査の実効性を高めています。

内部統制システム

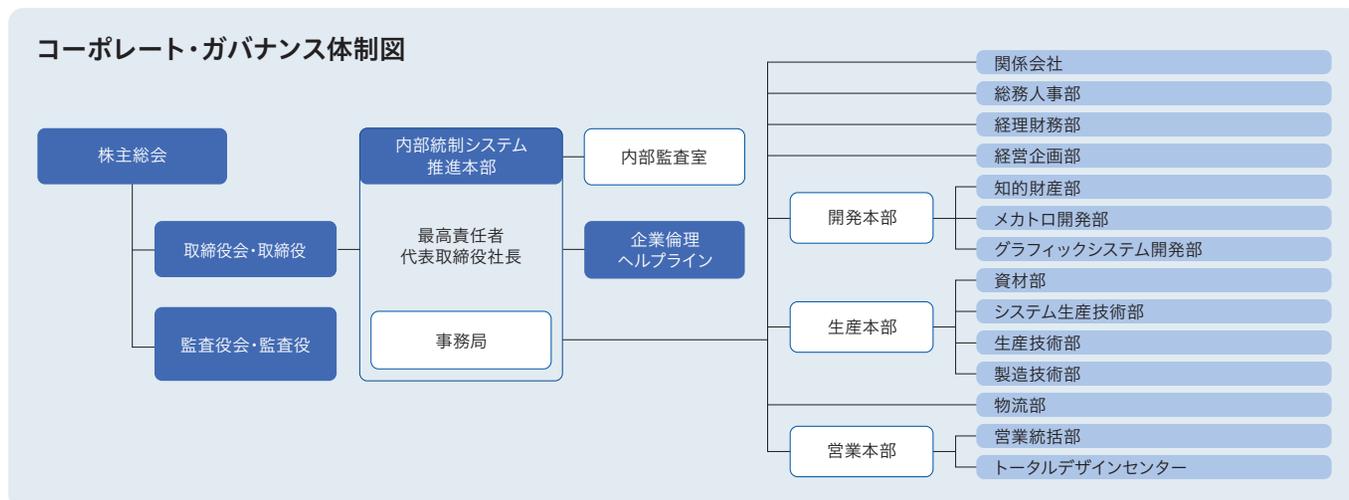
当社は内部統制システムの構築・運用を、企業理念・目標を実現させるための重要な要件であると考えており、「内部統制システムの整備に関する基本方針」を策定し、取り組んでいます。また、内部統制システム推進本部に加え、コンプライアンス委員会、リスク管理委員会、情報セキュリティ委員会を設けて内部統制の強化に努めています。

「財務報告に係る内部統制」についても、財務報告の信頼性を確保するため、公正かつ公平なディスクロージャーを推進する体制を整えています。

コンプライアンスへの取り組み

当社は「シマセイキグループ行動基準」の総則に「法令・企業倫理の遵守」を掲げて関係法令の遵守や社会規範の尊重に努めています。その実現のため、コンプライアンス委員会を設置し、定期的にコンプライアンスの状況をチェックするとともに、研修などを通じて計画的にコンプライアンスの定着を図っています。

また、法令違反や人権侵害などの報告・通報窓口として、社内外に「企業倫理ヘルプライン」を設けて運用を行っています。





代表取締役社長

島 正博

営業本部長



取締役副社長

島 三博

営業本部副本部長兼
経営企画部担当



常務取締役

和田 隆

生産本部長兼
生産技術部、製造技術部、
システム生産技術部担当



常務取締役

有北 礼治

開発本部長



常務取締役

梅田 郁人

営業本部副本部長兼
島精機(香港)有限公司CEO



取締役

藤田 紀

総務人事部長



取締役

中嶋 利夫

トータルデザインセンター部長



取締役

南木 隆

経理財務部長兼物流部担当



取締役

西谷 泰和

資材部長



取締役

西川 清方

営業統括部長



取締役

一柳 良雄

社外取締役
株式会社一柳アソシエイツ
代表取締役&CEO



監査役

植田 光紀

常勤監査役



監査役

田中 雅夫

常勤監査役



監査役

新川 大祐

社外監査役
公認会計士・税理士



監査役

野村 祥子

社外監査役
弁護士

社外監査役 野村祥子氏のご紹介

2015年6月より、堂島法律事務所に所属する野村祥子氏を当社の社外監査役に迎えました。弁護士として企業法務に関する豊富な知識・経験を有する同氏に、当社経営について法律的な観点から提言をいただくことで、ガバナンス体制をさらに強化していきます。

<略歴>

- 2000年 弁護士登録
堂島法律事務所入所(現在に至る)
- 2010年 近畿大学法科大学院 非常勤講師(現在に至る)
- 2014年 大阪大学大学院高等司法研究科 招へい教授
(現在に至る)



財務情報について

財務に関する次の情報は、有価証券報告書をご参照ください。

- 連結貸借対照表
- 連結損益計算書
- 連結包括利益計算書
- 連結株主資本等変動計算書
- 連結キャッシュ・フロー計算書
- 連結財務諸表注記

第54期 有価証券報告書

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/library/2015.html>

※ 財務数値について

この日本語版アニュアルレポートは、海外の読者向けに作成された英語版アニュアルレポートを翻訳したものです。そのため、有価証券報告書の財務数値と異なる箇所があります。

会社概要

商号 株式会社島精機製作所
 本社 〒641-8511 和歌山市坂田85番地
 Tel: (073)471-0511(代) Fax: (073)474-8267
 創立 1962年2月4日
 資本金 148億5,980万円
 従業員数 1,218名(連結1,766名)
 U R L 企業トップページ <http://www.shimaseiki.co.jp>
 IR・投資家情報 <http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>



連結子会社 株式会社シマファインプレス SHIMA SEIKI EUROPE LTD.
 ティーエスエム工業株式会社 SHIMA SEIKI U.S.A. INC.
 株式会社海南精密 島精機(香港)有限公司(SHIMA SEIKI (HONG KONG) LTD.)
 東洋紡糸工業株式会社 SHIMA SEIKI ITALIA S.p.A.
 島精榮(上海)貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN SHANGHAI LTD.)
 SHIMA SEIKI SPAIN, S.A.U.
 東莞島精貿易有限公司(SHIMA SEIKI WIN WIN DONGGUAN LTD.)
 SHIMA SEIKI (THAILAND) CO., LTD.
 SHIMA SEIKI KOREA INC.

投資家情報

決算期 3月31日
 定時株主総会 6月
 発行可能株式総数 142,000,000株
 発行済株式総数 36,600,000株
 株主数 16,903名
 上場取引所 東京証券取引所市場第一部
 監査法人 大手前監査法人

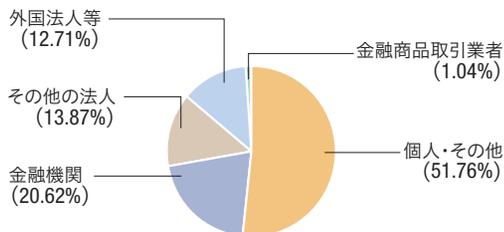
主要大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
和島興産株式会社	2,870	8.39
株式会社紀陽銀行	1,310	3.83
エヌケイ興産株式会社	1,150	3.36
島正博	1,070	3.13
島三博	1,061	3.10
株式会社三菱東京UFJ銀行	880	2.57
合同会社和光	780	2.28
シマセイキ社員持株会	714	2.09
株式会社池田泉州銀行	700	2.05
後藤ひろみ	697	2.04

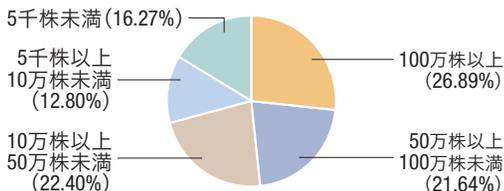
(注)1. 当社は、自己株式2,381千株(6.51%)を保有していますが、上記大株主から除外しています。
 持株比率は、自己株式を控除して計算しています。
 2. 株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。

株式分布

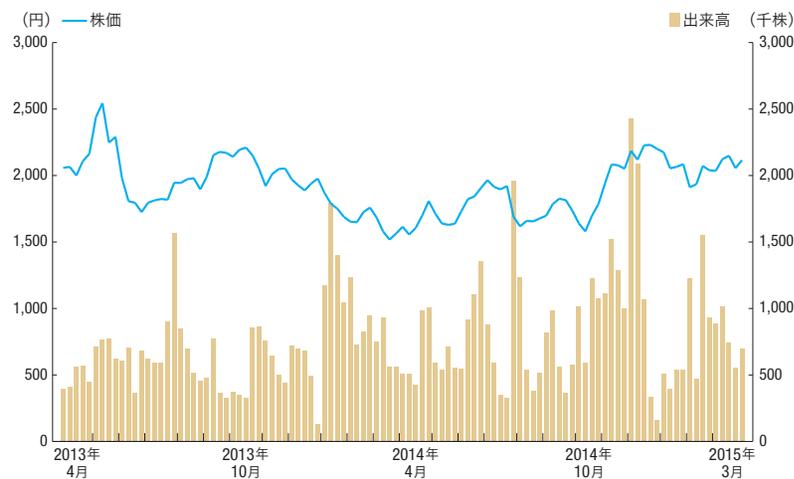
所有者別分布



所有数別分布



株価と出来高の推移



IRサイトのご紹介

<http://www.shimaseiki.co.jp/irj/irj.html>

当社のIR情報をホームページに掲載しています。業績などの最新情報はもちろん、よくある質問・回答や用語解説など役立つコンテンツをご用意しています。ぜひ一度、ご覧ください。



表紙について

極めて高精細でリアルなバーチャルサンプルを生み出す「SDS®-ONE APEX3」と、ホールガーメント®開発20年の節目の年に誕生した画期的な「MACH2®XS」。その融合により、新たな需要を開拓していきます。



株式会社島精機製作所

〒641-8511 和歌山市坂田85番地

Tel: (073)471-0511(代) Fax: (073)474-8267

ir@shimaseiki.co.jp

<http://www.shimaseiki.co.jp>

SHIMA SEIKI、シマセイキ、WHOLEGARMENT、ホールガーメント、MACH2、SWG、SES、SSG、SSR、SVR、SRY、SDS、SDS-ONE、SDS-ONE APEX、P-CAM、スライドニードル、トータルファッションシステムは株式会社島精機製作所の日本及びその他の国における登録商標または商標です。



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。